

『木下グループジャパンオープンテニスオフィシャル大会球 決定発表会』開催レポート

～ ATP ツアーアジア 3 大会のオフィシャル大会球にヨネックス「ツアープラチナム」が決定～

ヨネックス株式会社（代表取締役社長：アリサ ヨネヤマ）の当社製テニスボール「ツアープラチナム」が、「木下グループジャパンオープンテニス」をはじめとする ATP ツアーアジア主要 3 大会において、オフィシャル大会球に決定されました。これを記念し、2025 年 5 月 22 日（木）、『木下グループジャパンオープンテニスオフィシャル大会球決定発表会』を開催。当日は、トーナメントディレクターの甘露寺重房氏、元プロテニス選手の辻野隆三氏、弊社代表取締役社長のアリサ ヨネヤマが登壇し、トークセッションを行いました。



（左から）甘露寺重房氏、弊社代表取締役社長 アリサ ヨネヤマ、辻野隆三氏

【対象大会（ATP ツアーアジア主要 3 大会）】

- ・ ロレックス上海マスターズ（ATP M1000／中国）
- ・ 木下グループジャパンオープン（ATP500／日本）
- ・ 成都オープン（ATP250／中国）

男子プロテニスプレーヤーの世界ランキングは ATP が運営するツアー公式戦の試合結果で与えられるポイントと、グランドスラムの試合結果で与えられるポイントで決まります。その ATP ツアーのアジア主要 3 大会で、この度「ツアープラチナム」がオフィシャル大会球として使用されると決定しました。

【ATP からのコメント】

ATP は 2025 年、選手にとってより一貫性のあるプレーを提供するため、ATP カレンダーの各大会で使用するテニスボールを標準化するプロセスを開始しました。入札プロセスを経て、ATP はヨネックスと契約を締結し、2025 年から 2028 年にかけて、成都オープン（ATP250）、木下グループジャパンオープンテニスチャンピオンシップス（ATP500）、ロレックス上海マスターズ（ATP M1000）でヨネックスのツアープラチナムボールを使用することになりました。

今回の決定について、辻野氏は、「ボールが大会ごとに異なることは、特に肘・手首・肩などへの負担や、プレーのしづらさといった課題がありました。この10年以上、多くの選手がボールの統一を望み、訴えてきました。ボールを統一することで選手のパフォーマンスが安定し、怪我の防止にもなります」と、実際の選手たちの声をもとに話しました。また甘露寺氏は、「選手にとって、ボールの違いは肉体的な負担やパフォーマンスに影響することです。今回、ATP ツアーは『統一したボールを使う』ことへの選手の強い要望に対応したものと理解しています。選手が最高のプレーを発揮できる環境を整えるだけでなく、観客にとっても試合の質向上につながる、前向きな変化だと考えています」と期待をもって語りました。

今年の「木下グループジャパンオープンテニス」の見どころについて、甘露寺氏は「まず、カルロス・アルカラス選手（スペイン）の初来日は、日本のテニスファンにとって大きな楽しみになるでしょう。現在、選手の招聘活動を進めており、今後発表していく予定です。多くの方に会場へ足を運んでいただき、テニスの試合だけでなく、会場全体の雰囲気を楽しんでいただけたら」と話し、辻野氏は「普段はテニスを観ていないような方々にも見てもらいたい。皆さんと一緒に盛り上げて、いい大会にできたらと思っています」と語りました。

「ツアープラチナム」について

ITF・JTAの公認球であり、国内外で厚い信頼を集めるテニスボール。
安定したリバウンド性能を発揮するコアゴムが柔らかい打球感と
高いコントロール性能を生み出し、快適なプレーをサポートします。

安定して高品質なボールを供給できるよう、タイの自社工場で生産し、
100項目を超える性能試験を実施しています。

品 番：TB-TPL2P／TB-TPL4P（2個入缶／4個入ペット缶）

素 材：フェルト：ウール＋合成繊維、コア：天然ゴム

(TB-TPL2P) https://yonexshop.jp/item/detail/1_1_TB-TPL2P_1/

(TB-TPL4P) https://yonexshop.jp/item/detail/1_1_TB-TPL4P_1/004



■ 採用実績（2024 年度）

【海外大会】

- ・ 広州オープン（WTA250）
- ・ 成都オープン（ATP250）

【国内大会】

- ・ 東レ パン パシフィック オープン（WTA500）
- ・ 四日市チャレンジャー（ATP ツアー）
- ・ 浜松ウィメンズオープン、久留米市ユース・エス・イーカップ国際女子、他 ITF 大会多数
- ・ 各種国際ジュニア大会（ITF ジュニア）

登壇者プロフィール



■甘露寺 重房 （かんろじ しげふさ）

幼少期をアメリカ・カリフォルニア州で過ごし、その際にテニスを始める。プロテニス選手として国内外で活躍後、現在はパフ株式会社 代表取締役を務める。
あわせて、日本最大規模の男子プロ国際大会「木下グループ ジャパンオープンテニス選手権」のトーナメントディレクターを担う。



■辻野 隆三 （つじの りゅうそう）

高校卒業を機にプロへ転向し、その後3年間にわたりアメリカで修行。名門マネジメント会社 IMG と日本人第1号の契約プロ選手として契約を結ぶ。
帰国後は国内トッププロとして輝かしい戦績を残され、2003年の現役引退後は、東京・狛江に「MIRAI テニスアカデミー」を設立。プロを目指すジュニア選手の育成や、一般愛好者への指導にも注力。